

# 事業の進捗状況

資料 3 - ②  
令和7年度第1回  
利根川水系渡良瀬川  
河川整備計画フォローアップ委員会

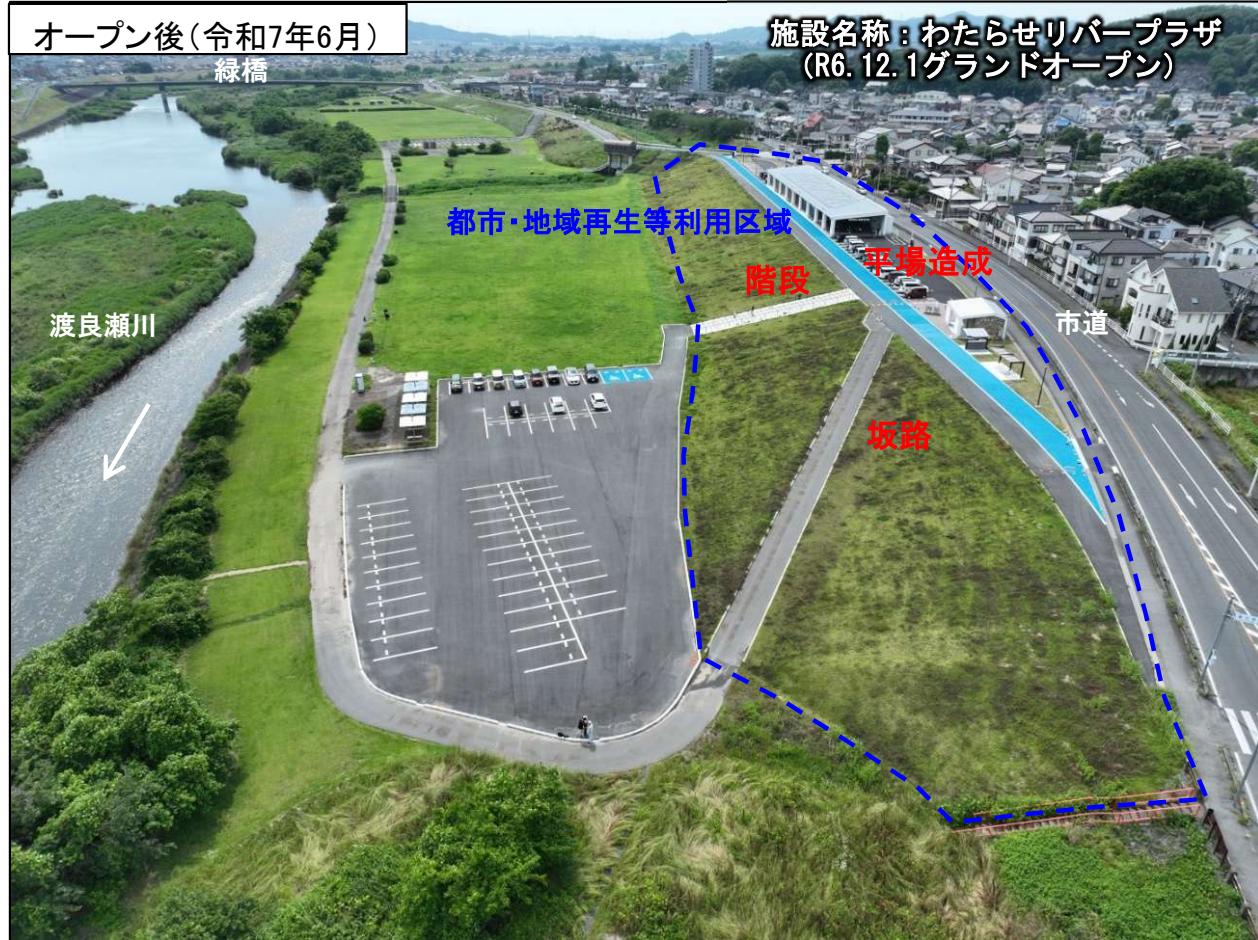
## 【整備計画の目標に関する事項】

- 年超過確率1/30～1/40の水準に相当する洪水による災害の発生の防止又は軽減を図り、このうち、河道整備において対象とする流量は高津戸地点において3,000m<sup>3</sup>/sとする。
- 大間々地点において、かんがい期に概ね25m<sup>3</sup>/s、非かんがい期に概ね7m<sup>3</sup>/sを流水の正常な機能を維持するため必要な流量とし、安定的に確保するよう努める。
- 治水、利水及び流域の自然環境、社会環境との調和を図りながら、河川空間における自然環境の保全と秩序ある利用の促進を目指す。



# 事業の進捗状況

■「五十部・岩井地区かわまちづくり」(令和2年3月変更登録)において、国で整備した「足利市の本町緑地地区(栄町2丁目)」では、栃木県で初となる「都市・地域再生等利用区域」に指定し、足利市の公募により選定された民間事業者の施設整備・運営による「わたらせリバープラザ」が令和6年12月にオープン。



施設利用状況(令和6年12月1日)



施設利用状況(令和7年11月8日)



サイクルフェスタ 開会式(参加者)



# 事業の進捗状況 (参考)

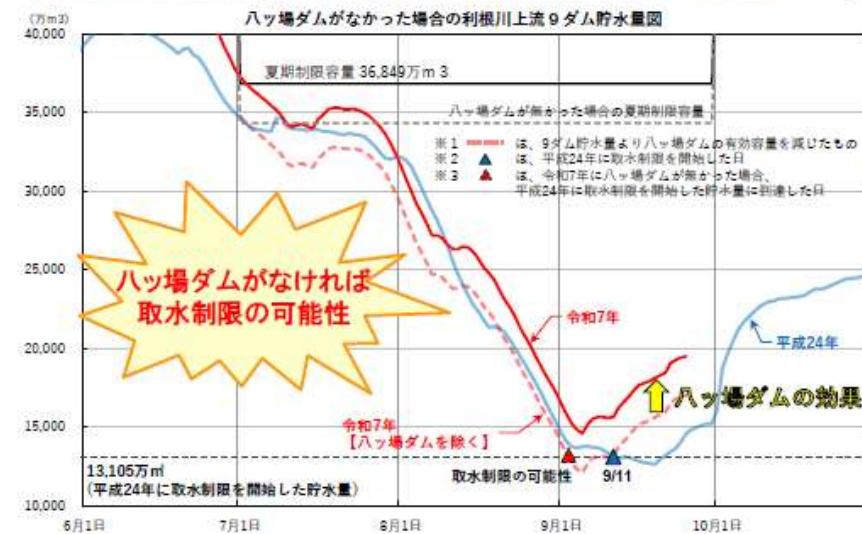
利根川ダム統合管理事務所HPより



R5事例

## 国土交通省 関東地方整備局 八ッ場ダムにより利根川の渇水を回避

- 利根川（栗橋地点）上流域の平均降雨量は、6月以降平均値を下回り、特に8月は平年の4796と降雨が少ないとなりました。
- このため、利根川9ダムでは、下流の水利用等に必要な水量を放流した結果、9月5日時点で貯水率が40%まで低下し、取水制限の実施が懸念されました。
- 令和2年から八ッ場ダムの運用が開始され、現在は9つのダムによる運用を行っています。  
仮に八ッ場ダムがなかった場合、貯水量は9月に取水制限を実施した平成24年当時の水準まで減少し、取水制限を実施していた可能性があります。
- 八ッ場ダムが完成する前の平成4年から令和元年までは、取水制限が8回あり、平均すると、3.5年に1回取水制限がありましたが、八ッ場ダム完成後6年間で取水制限はありません。



R7事例